

ようぼうしよ 要望書

もんぶかがくだいじん ながおか けいここの
文部科学大臣 永岡 桂子殿

ねん がつ にち
2023年7月11日

ぜんこくこうてきかいごほししょうようきゅうしやくみあい
全国公的介護保障要求者組合

いいんちょう みつゐ きぬこ
委員長 三井 絹子

ひごろ きょういくぎょうせい じんりよく
日頃より、教育行政にご尽力いただきありがとうございます。

わたしぜんこくこうてきかいごほししょうようきゅうしやくみあい じゅうど しせつ
私たち全国公的介護保障要求者組合は、重度のしょうがいしゃが、施設ではなく

あまえちいき い ねんまえ うんどう つづ
当たり前前に地域で生きていきたいと50年前から運動を続けてきたしょうがいしゃとその支

えんしゃ だんたい いんくるーしぶきょういく じつげん こと がっこう もんだい
援者の団体です。インクルーシブ教育を実現していく事は学校の問題だけにとどまらず、

だれ あまえ く しゃかい じつげん む おお かんけい
誰もが当たり前前に暮らす社会の実現に向けて大きく関係してきます。

いんくるーしぶきょういく こ おながっこうおな きょうしつ まな
インクルーシブ教育とは、すべての子どもたちが同じ学校同じ教室で学ぶことです。

しょうがいしゃけんりじょうやく ひじゅん にほん こくれん しょうがいしゃけんりいいんかい う
「障害者権利条約」を批准した日本において、国連の障害者権利委員会から受けた

かんこく したが じつげん と く せいふ とうぜん せきむ
勧告に従い、実現に取り組むことは政府の当然の責務です。

くに きょういくせいさく ほうりつ ぎょうせいじょう と き なか ぶんりきょういく お
「国の教育政策、法律および行政上の取り決めの中で、分離教育を終わらせることを

もくてき しょうがい じどう ほうよう きょういく いんくるーしぶきょういく
目的として、障害のある児童がしょうがいしゃを包容する教育（インクルーシブ教育）を

う けんり こと にんしき
受ける権利がある事を認識すること。

また特定の目標、期間及び十分な予算を伴い、全ての障害のある生徒にあらゆる教育

だんかい ひつよう ごうりてきはいりよおよ こべつ しえん ていきょう かくほ
段階において必要とされる合理的配慮及び個別の支援が提供されることを確保するため

しつ たか ほうよう きょういく いんくるーしぶきょういく かん こっか こうどうけい
に、質の高いしょうがいしゃを包容する教育（インクルーシブ教育）に関する国家の行動計

かく さいたく こと
画を採択する事。」

かんこく したが こと じんけん しんがい つづ こと
この勧告に従わないという事は、しょうがいしゃの人権が侵害され続けてしまうという事

です。

げんざいかいごしゃぶそく しんこく かいごしゃぶそく わ きょういく へいがい
現在介護者不足が深刻です。この介護者不足も分けられた教育による弊害です。

ちが ばしょ そだ せつ かたかか かた わ おお い おな にんげん
違う場所で育ってしまえば、接し方関わり方も分からないし、大きく言うと同じ人間だという

にんしき も
認識も持てないかもしれせん。

ぶんりきょういく なか ばらばら そだった けんじょうしゃ さき わ
分離教育の中でバラバラに育ったしょうがいしゃと健全者はその先もずっと分けられて
い い こと いんくるーしぶきょういく すべ こ ひとつ いっしょ そだ い
生きて行く事になります。しかしインクルーシブ教育で全ての子どもが一緒に育って行けば、
たが しゃかい い い こと あ まえ おも
互いに1つの社会で生きて行く事が当たり前におもえるのです。

しゃかい
社会は1つです。

こくれん かんこく う つうじょうがつきゅう こ はい ようぼう
国連の勧告を受け、通常学級にすべての子どもが入れるように要望します。

① インクルーシブ教育の文科省の見解を教えてください。

いんくるーしぶきょういく けんかい おし
インクルーシブ教育の見解がばらばらになってしまっています。

もんかしょう いんくるーしぶきょういく とくべつしえんきょういく どうとう なら
これは文科省がインクルーシブ教育と特別支援教育を同等に並べてやっていくとい
かんが かた あいまい おも こべつしえん とくべつしえんがっこう とくべつしえんがつきゅう
う考え方が曖昧だからだと思います。個別支援とは特別支援学校や特別支援学級に
い こと
入れる事ではありません。

② 1979年の養護学校義務化で全員就学を目指しました。この時代の文科省の考えを
教えてください。

ようごがっこう つく もくてき ようごがっこうそつぎょうご ゆくすえなど
(養護学校を作った目的、養護学校卒業後の行く末等)

わたし なかま ようごがっこう い ひと ほか こ きょうだい
私たちの仲間でも養護学校に入れられていた人がいます。他の子どもたち兄弟たち
ちが がっこう い ところ きず とし かさ いま い こと
と違う学校に行かされていた心の傷は年を重ねた今でも癒える事はありません。

③ 特別支援学校・学級を何年までになくすか聞かせてください。

こくれん すべ しょうがい じどう たい こべつ きょういくようけん み
国連で「全ての障害のある児童に対して、個別の教育要件を満たし、しょうがいし

ほうよう きょういく いんくるーしぶきょういく かくほ ごうりにきはいりよ ほしょう
やを包容する教育(インクルーシブ教育)を確保するために合理的配慮を保障するこ
かんこく う ぶぶん こべつしえん とくべつしえんがっこう とくべつしえん
と」と勧告を受けました。この部分の個別支援を特別支援学校だったり、特別支援
がつきゅう かんちが こべつしえん おな がっこう おな きょうしつ なか
学級だったりと勘違いされていませんか？個別支援は同じ学校、同じ教室の中で
こ こ せいと ひつよう しえん かんが い こと
個々の生徒の必要な支援を考えて行くという事です。

とくべつしえんがっこう がつきゅう なんねん もくひょう ひつよう もんかしょう かんが
特別支援学校や学級を何年までになくすという目標は必要です。文科省の考え
おし
を教えてください。